

AD ALTIORA SEMPER

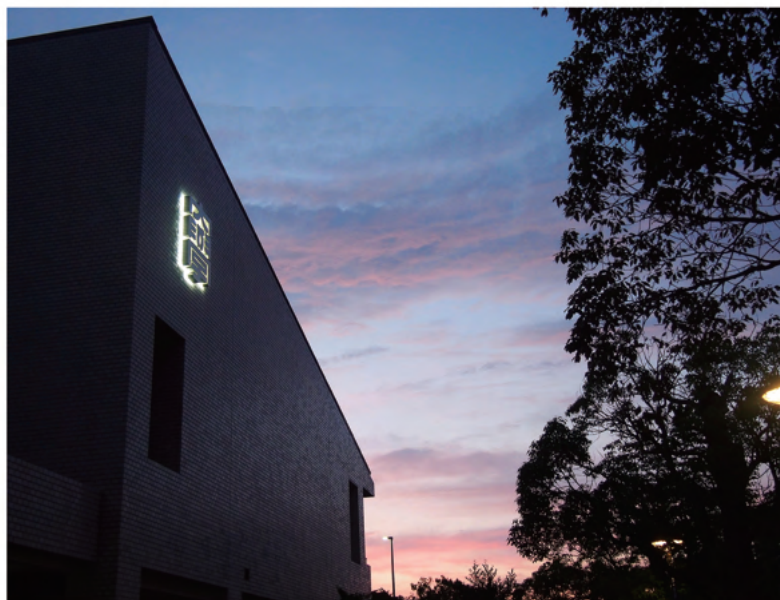
vol. **54**

神戸市外国語大学 学術情報センターだより

2022年1月31日
【編集・発行】
神戸市外国語大学
学術情報センター



AD ALTIORA SEMPER (アド・アルティオラ・センペル) とは
ラテン語で「常により高きを求めて」という意味です



巻頭言 研究することと本を読むこと ... P.1

P.3 著書紹介

P.5 第23回（2021年度）図書館総合展
ONLINE plusのポスターセッション
に当館も参加しました！

P.4 蔵書検索システム
（OPAC）リニューアル！

ほか

研究することと本を読むこと

ロシア学科 教授 北見 諭

図書館の広報誌の巻頭言を書くようにという依頼をいただいた時、最初に頭に浮かんだのは「書くネタが思いつかない」ということだった。大学に勤めて研究活動をしているのだから、図書館や本についてならいくらでも書けるだろうと思われるかもしれないが、意外に本を読む時間がない。もちろん研究に関わる本は読んでいるが、それにかかなりの時間が取られるので、あるいは時間を掛けなければまともな研究ができないので、研究とは関わりなく好きな本を読む時間がない。今思うと、手当たり次第にいろいろな本を乱読できた学生時代は本当に幸せだったと思う。

私が研究しているのはロシア思想史である。大学時代と修士の時代はロシア文学が専門だった。しかし博士の頃から少しずつ専門をシフトさせて、思想史の方に移っていった。それも、実は専門に関連する本しか読めなくなってきたので、その状況から逃れようとするささやかな抵抗の試みだった。特に哲学やその周辺のことに関心があったので、そういう本を「研究」にかこつけて読めるように、文学から思想史に鞍替えしたのである。動機が不純だと言われそうだが、おかげでロシアの思想家が影響を受けたり批判の対象にしたりしている西欧の哲学者の著作を読む時間が「研究」の枠内で取れるようになった。

私が研究しているのは 20 世紀初頭のロシア思想である。革命思想であればレーニンやトロツキーなどの有名人がいるが、私が研究しているのは宗教思想で、日本ではほとんど知られていない。一時実存主義との関係で日本でも読まれたベルジャーエフやシェストフなどがいるが、彼らも今では忘れられた思想家の部類に入るとされる。

しかし、哲学に関する専門的な知識を持つ彼らの

著作においては、古代ギリシャ哲学に始まって現象学や生の哲学のような潮流に至るまで、さまざまな哲学思想が問題にされ、さらにはキリスト教神学やドイツ神秘主義の思想、またマルクス主義や精神分析など、私がとても興味をそそられるさまざまなタイプの思想が取り上げられる。彼らの思想を研究対象とすることで、それに関わりを持つこうした様々な西欧哲学の古典を読む時間が取れるようになった。専門以外の本が読めなくなった状況を変えようとして行った私のささやかな抵抗の試みは、結構うまくいったのではないかと思う。

そのようにして、ロシアの専門家でありつつ、「研究」にかこつけて西欧哲学の本も読んできたわけだが、その中でも私の研究にとって特に重要な存在となったのが、ニーチェやベルクソンやウィリアム・ジェイムスなど、いわゆる生の哲学のカテゴリーに括られる哲学者たちである。彼らが私の研究にとって重要な意味を持つようになったのは、何よりもロシアの宗教思想家たちが彼らの哲学に大きな影響を受けているからだ。さらにはその影響関係を視野に置くことでロシアの宗教思想がこの時代のある思想的な文脈と結びついていることがわかるようになった気がするからだ。

ご存じの方もあるだろうが、ロシアの思想に影響を与えたベルクソンやジェイムスは、実は日本の西田幾多郎にも少なからぬ影響を与えている。フランスのベルクソンに発するある思想の流れが、日本とロシア、さらにはジェイムスがいたアメリカも含めていいだろうが、狭義の西欧世界の少し外側に位置する国々、当時はまだ哲学的には後進国だった国々の思想家たちに受け入れられ、それぞれの地域のローカルな文脈と結びついて独自の思想を生みだしていく。

アメリカのプラグマティズムと西田の自然や生命の哲学、そしてロシアの宗教思想は、一見するとばらばらに現れたローカルな思想に見えるが、それらはおそらく底のところにつながっている。それをつないでいるのが生の哲学であり、今は詳細に語る余裕はないが、もう一つ私が関心を持っている要因を挙げれば、帝国主義から世界戦争に向かって大きな曲がり角を曲がろうとしていた当時の世界的な状況がそれである。そうした状況があるために、アメリカと日本とロシアという微妙な地域に、当事者たちが意識しないままにある種の思想的つながりができたのだと考える。

ロシアの宗教思想を生るの哲学と結びつけて考えることで、こうしたさまざまな視野が開けてきたように思える。それは、客観的に見れば視野が広がったというより、落ち着きなく右往左往しているだけに

見えるかもしれないが、その右往左往の過程でいろいろな本に出合えていろいろなことに気づいたので、自分ではそれでもいいかなと思う。

自分ではまったく信じられないことだが、私もあと10年と少しで定年になる。もう少ししたら、また学生の時のように「研究」という枠を外して手当たり次第にどんな本でも乱読できるようになる。しかし、そのように完全に解放されてしまうと、おそらく読みの質が悪化するだろうなという予感はある。大学院生の時には縛りから逃れることが必要だったが、定年後はある種の縛りを必要とするようになるのだろう。では、どのあたりで一番良いバランスがとれるのか。今はまったく想像がつかない。縛りから解放された時に改めて考えることにしよう。

■ 文中紹介著者作品【本文掲載順】(図書館所蔵)

● ベルジャーエフ【Nikolay Aleksandrovich Berdyaev】

[日] 『歴史の意味：人間運命の哲学の試み』(ベルジャーエフ著作集 第1巻)(請求記号：N138=4=1)

[露] *Смысл истории*(請求記号：露138==35)

● シェストフ【Lev Shestov (Lev Isaakovich Shvartsman)】

[日] 『悲劇の哲学』(請求記号：N138==5 ほか)

[露] *Достоевский и Ницше : Философия трагедии*(請求記号：露1304==2)

● ニーチェ【Friedrich Wilhelm Nietzsche】

[日] 『悲劇の誕生』(請求記号：N080=30=22-1-2 ほか)

[英] *The Birth of Tragedy out of the spirit of music*(請求記号：N080=8=3339)

[独] *Die Geburt der Tragödie*(請求記号：N134.9=1=3-1)

● ベルクソン【Henri Bergson】

[日] 『意識に直接与えられたものについての試論』(請求記号：N080=30=29-5-1)

[日] 『時間と自由』(請求記号：N080=15=645-9B ほか)

(注記)いずれも仏語原題 *Essai sur les données immédiates de la conscience* の日本語訳

● ジェイムス【William James】

[日] 『プラグマティズム』(請求記号：N080=15=640-1 ほか)

[英] *Pragmatism*(請求記号：N133.9=3=1 ほか)

● 西田幾多郎

[日] 『善の研究』(請求記号：N080=15=124-1B ほか)

[]内は使用言語を指す。



スペイン語を 本気で学ぶ人のための文法書

外国学研究所 名誉教授

福嶋 教隆 (ふくしま のりたか)

イスパニア学科 准教授

フアン・ロメロ・ディアス

本書は、スペイン語の文法についての詳しく本格的な参考書です。福嶋が書いた草稿にロメロが目を通して意見を述べ、細部に至るまで2人で議論を尽くして完成させました。執筆編纂時には、いつも本学の学生の皆さんを主な読者としてイメージしていました。

章立ては、基本的に品詞を基準にしています(第5章「名詞」、第6章「形容詞」など)が、第4章「文、節、句、語順」や第21章「さまざまな文表現」のように、品詞の枠を超えた文論も詳述しています。情報構造、形式動詞(verbos de apoyo)、談話標識など、新しい言語学の知見も加えました。

スペイン語の文字規則は、以前とはかなり変更されています。本書では最新の状況を正しく示すことに力を入れました。また、スペイン王立学士院が推奨する表現形式が、必ずしも定着しているとは限りません。そんなときは、規範的な形式と、実際に広く使われている形式の両者をあげて説明するようにしました。

Ha sido un gran honor para mí participar en la elaboración de esta gramática de la lengua española junto con el Prof. Fukushima, a quien admiro y respeto por su humildad y profesionalidad. Gracias por confiar en mí.

La traducción del título original al español resultaba poco natural, por lo que se optó por otro título que reflejara fielmente el contenido y los objetivos de este libro. De ahí, *Gramática de la lengua española: usos y ejemplos*, puesto que no solo recoge los principales usos de la gramática española con explicaciones sencillas y fáciles de

『詳説 スペイン語文法』

福嶋教隆、
フアン・ロメロ・ディアス共著
白水社、2021.9発行

図書館所蔵：N865==200



本書は、本来は『必携〇〇語総まとめ』シリーズの1つとして、もっとコンパクトなものになるはずでした。ところが、原稿の分量が予定を遥かに上回ったため、単独の企画へと変更され、1995年に福嶋が、本学名誉教授の故西川喬先生や、宮本正美先生がたとともに編んだ『中級スペイン文法』(白水社)に匹敵するボリュームになりました。

福嶋の元の原稿のさまざまな問題個所を、ロメロが丁寧にチェックし、例文を文法的に正しいだけでなく、自然な姿に整え、説明の難点も解消するように努めました。優れた言語学者ロメロの誠意と熱意にあふれた参画がなければ、本書は到底、今の姿ではありえなかったでしょう。私は良き共著者に恵まれたことを幸せに思います。

本書は早くも重版の運びとなり、先日、細かな修正を終えたところです。しかしまだ不十分な記述や誤記が多々あるかと思えます。問題点にお気づきの節はお教えいただければ幸甚です。

福嶋 教隆

entender, sino que también presenta numerosos ejemplos prácticos. Cada ejemplo viene acompañado de su correspondiente traducción al japonés, lo que permite a estudiantes y profesores de español como lengua extranjera conocer de manera pormenorizada los usos reales de las estructuras gramaticales de la lengua española.

Por último, el libro dispone de un índice temático en japonés y español que permite al lector realizar una búsqueda rápida y sencilla a partir de una duda concreta.

Juan Romero Díaz

(この文法書を福嶋先生とともに世に出せたことは、私にとって非常な光栄です。謙虚なお人柄の上でも研究者としても敬愛する先生に信頼していただき、ありがたく思っています。

本書のスペイン語の表題は *Gramática de la lengua española: usos y ejemplos* (スペイン語文法 一用法と用例一) としました。これは、『詳説スペイン語』という表題を直訳すると、スペイン語としては不自然になるからです。そこで、上記のように、本書の内容と目的を忠実に示したスペイン語名を付けました。この表題のとおり、本書は、スペイン語文法の要点を網羅し、多数の実用的な例文を用いて、簡潔で分かり易い説明を提供しています。例

文に付された和訳と解説によって、スペイン語を外国語として学ぶ人も教える人も、スペイン語の文法構造の実際の運用を詳しく知ることができるでしょう。

また、この本には文法用語や重要語彙から検索できるインデックスを設けました。1つ1つの疑問への答えを素早く容易に見いだせるはずです。

ファン・ロメロ・ディアス

その他の著書情報

福嶋教隆、ファン・ロメロ・ディアス共著、
『世界遺産で学ぶスペイン語』
朝日出版社、2018年1月発行(図書館所蔵：N860.7==278)
『4コマ・スペイン語 中級』
朝日出版社、2015年1月発行(図書館所蔵：N860.7=198=2)

お知らせ

蔵書検索システム(OPAC)リニューアル!

2022年1月の図書館システム更新に伴い、蔵書検索システム(OPAC)が使いやすくなりました。

/// 主な変更点 ///

- ▶ CiNii、NDLサーチ、リポジトリ等の検索が、簡単な操作でできます。
- ▶ スマートフォンやタブレット端末でも、パソコンと同じ操作で使えます。
- ▶ 予約・期限延長等がGAIDAIPASSと同じアカウントでできます。
- ▶ 雑誌の最新号の検索ができます。
- ▶ ILL申込に加えて、購入希望申込もできます。*
- ▶ 検索項目が簡単に選べます。また、一度設定した検索条件を保存できます。*

※ログインが必要です

ほかにも、おすすめ図書が表示される等、全体的に機能が充実しました。

デザインも新しくなり、便利になった蔵書検索システムをお試しください。

オープンアクセス方針が施行されました

「神戸市外国語大学オープンアクセス方針」が策定されたのは、ご存じでしょうか。

「神戸市外国語大学オープンアクセス方針」を2021年2月5日に学長決定し、2021年3月1日に施行いたしました。

2019年から2024年にかけての第3期中期計画で、「高度な学術研究の推進」の中の「研究成果公表の促進」として、学術論文などを保存・公開するリポジトリをさらに拡充するため、オープンアクセスに関する方針を策定いたしました。

オープンアクセスとは、研究成果をインターネット上で公開し、無料で利用できるように論文などを世界に提供することです。

神戸市外国語大学では、2013年4月1日より学術情報リポジトリを正式運用し、博士論文や紀要論文などを公開してきました。

本学では、学術論文などを世界に公開することにより、学術研究活動に貢献し、研究成果の視認性が高まることや研究成果の引用性が高めることなどで、本学の研究活動を世界に公開していきます。

第23回（2021年度）図書館総合展ONLINE plusの ポスターセッションに当館も参加しました！〔2021.11.1 - 11.30〕

2021年11月1日から30日まで、第23回（2021年度）図書館総合展 ONLINE plus が開催され、当館も2年連続でポスターセッションに参加しました。以前は、毎年横浜で開催されていた本イベントですが、新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み、昨年からオンライン開催となりました。当館のポスターセッションページでは、「知識の海の水先案内人、LAの躍進」と題して、当館の大学院生スタッフであるラーニングアドバイザー（LA）の活動を紹介しました。

紹介内容

- 「LA通信」とは？
- LA通信記事
- LAのオンライン相談&イベント
- LA活動の広報物
- 私たちについて
- おまけ

セッションページの一部をご紹介します

「LA通信」は、LAによるエッセイの連載で、2015年に開始しました。LAが、大学院生ならではのアカデミックな知識とみずみずしい感性で、図書館活用法からレポートの書き方に関するティップス、おすすめの作品紹介まで多岐にわたるテーマで執筆を続けています。

昨年引き続き、内容だけでなく、デザイン、構築まで図書館職員が一貫して行いました！



▲ポスターセッションページへ

神戸市外国語大学 学術情報センター (図書館)

2021年度 ポスターセッション

ホーム > ポスター

知識の海の水先案内人、LAの躍進

今回のポスターセッションでは、当館の大学院生スタッフであるラーニングアドバイザー（LA）の活動を紹介します。長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、当館でもサービスの多くは利用が低下しました。このような状況において活動の場を対面からオンラインに移し、アクセスを挙げ、LAによる学習支援の活動を紹介します。

イベントの概要

開催日
神戸市外国語大学 学術情報センター (図書館)

開催場所
神戸市外国語大学 学術情報センター (図書館)

URL
https://www.kobe-cu.ac.jp/library/index.html
https://www.kobe-cu.ac.jp/library/qaamp/center.html
https://2020.library.ky.jp/poster/2020/p137

電話
078-794-8153

メールアドレス
library@office.kobe-cu.ac.jp

Twitter
https://twitter.com/KCUPS_lib

Facebook
https://www.facebook.com/lib.kobe.cu/

KCUPS Libのツイート

神戸市外国語大学 学術情報センター (図書館) @KCUPS_lib

LA通信

「LA通信」とは？

「LA通信」は、LAによるエッセイの連載で、2015年に開始しました。昨年より運用を開始したFacebookに掲載し、また、2020年に開始したTwitterでも随時取り上げています。LAが、大学院生ならではのアカデミックな知識とみずみずしい感性で、図書館活用法からレポートの書き方に関するティップス、おすすめの作品紹介まで多岐にわたるテーマで執筆を続けています。是非一度Facebook、Twitterをご覧ください。

- 神戸市外国語大学学術情報センター (図書館) 公式Facebook
- 神戸市外国語大学学術情報センター (図書館) 公式Twitter

LAのオンライン相談&イベント

現在進行形で提供しているLAによるオンラインイベントサービスを紹介します。「オンライン対面学習相談」、「LAへの質問」は今年度から新たなサービスとして開始、「メール学習相談」は昨年年度から引き続き行っています。

また、オンラインでのイベント開催は、当館でも初めての試みとなりました。

オンライン相談

オンライン対面学習相談 (Zoom)

レポートや論文の書き方など困っていること・心配なことをLAがZoomで学習相談に応じます。

- 大学院生スタッフによるオンライン対面学習相談 (Zoom)について

メール学習相談

学生からのレポート・論文作成や外国語学習に関するメール相談を受け付けます。相談内容は匿名でLAに通知され、最大人からの返信が得られる形式となっています。

- 大学院生スタッフによるオンライン対面学習相談 (Zoom)について

LAへの質問

LAへの質問
LAがレポート・論文等に関する質問にお答えします。質問は匿名で良い。回答は随時随時Facebookに掲載しています。

- 「LAへの質問」→大学院生スタッフがレポート論文に関する質問にお答えするページについて

🐦 学術情報センター(図書館)公式Twitterを運用中です

2020年9月に始動した当館の公式Twitterは、外大生に役立つ情報を随時発信しています。2021年度からは、「専攻4言語学習支援ツイート」と題して、原則週一回、各専攻言語の学習や文献探索などに役立つ情報をツイートしています。また、「外大ごよみ」と題して、四季折々の学内の様子を写真で紹介しています。



▲専攻4言語学習支援



▲外大ごよみ

Twitter アカウントについて

- 名前:神戸市外国語大学学術情報センター(図書館)
 - アカウント名: @KCUFS_lib
 - URL: https://twitter.com/KCUFS_lib
- ※Twitter アカウントをお持ちでない方も上記の URL からご覧になれます。

フォローおよび返信への対応等について

- 他アカウントのフォローおよびリツイート、「いいね」は原則として行いません。
- リプライやダイレクトメッセージには、原則として返信しません。ご質問・ご意見は、お手数ですが、ホームページの「お問い合わせ先」からお願いいたします。

200字以内であなたのお気に入りの本を紹介してください。メールアドレスまたはペンネーム・紹介資料書名・著者名を明記し、下記の宛先まで利用生、教員、職員など利用区分に関係なくどなたでも応募いただけます。

応募先

library@office.kobe-cufs.ac.jp

注意事項

- 氏名またはペンネームを掲載させていただきます。
- 外大図書館に所蔵がないものも応募できます。
- 漫画・雑誌等のご遠慮ください。

「つなぐれ読書のバトン」投稿募集!

つなぐれ読書のバトン

『エンジェル エンジェル エンジェル』
梨木 香歩 著

おばあちゃんの深夜のトイレ当番を引き受ける代わりに熱帯魚を飼う事を許された女の子ココ。孫のココの心情と寝たきりに近いおばあちゃんの少女時代の記憶が交互に描かれる。章ごとくに切り替わる過去と現在は、新字体と旧字体で表

現され、現在と過去の境界線を行き来するかの様な気持ちになる。悔やみながら胸の中に秘めている悪魔が、静かに紐解き許されていく。人間の不完全さを切なく、そして優しく書かれた一冊である。

第三走者 S

📖 図書館日誌 《2020年11月～2022年1月》

2020年	11.1-11.30	第22回図書館総合展ポスターセッション参加(オンライン)
2021年	1.7	暴風雪警報発令による臨時閉館
	1.19-2.9	2020年度第3回 Re ユース
	4.6-4.23	2021年度第1回 Re ユース
	4.26-9.30	緊急事態宣言発令に伴い臨時閉館
	7.19-8.6	2021年度第2回 Re ユース
	8.23-8.30	蔵書点検
	10.1	市民利用再開
	11.1-11.30	第23回図書館総合展ポスターセッション参加(オンライン)
2022年	1.5	図書館システム更新による新システム稼働

	AD ALTIORA SEMPER vol.54 神戸市外国語大学学術情報センターだより 第54号
ISSN	0919-2336
編集・発行	神戸市外国語大学学術情報センター
	〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1
	TEL : 078-794-8151 / FAX : 078-797-2257
	URL : http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/
発行日	2022年1月31日
発行責任者	センター長 芝 勝徳